

## 保健室子育てだより（保健室情報） 9月

シアトル日本語補習学校

養護教諭 柏屋 久美子

初秋の候、保護者の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、保健室活動に温かいご理解とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

夏休みが明け、子どもたちが元気に戻ってきました！

夏休み前は、低学年の子どもたちの来室が多かったのですが、夏休み明けてこの2週間では、〔擦り傷の児童が一人来室しただけです〕けが一人だけです。遅くなっていますね。そして、高学年、中学生は現地校との両立に関する課題が大きくなって来ているようです。

子どもたちは、現地校との両立の課題、再びガッツリ、取り組んでいきます。辛そうにしているのを見ても、誰に代われるものではないですね。親が代われることでもなく、しっかり聞き合って、子ども自身が引きうけていく人生を思いっきり、応援したいものですね。親にとっての「こうあってほしい」「こうなって欲しい」自分ができなかったことを子供に託したり、他人と優劣を比べて責めたり、自分の理想や期待と比べて、子どもを、自分を責めてしまいます。愛すべき関係だからこそとも言えますが。大切な家族だからこそ、聞き合いたいものですね。子どもを信じるのが親の勤め。そう思いませんか？

※この実践をしている「NPO 井戸端わもん」の代表者による聞き合う会が開催されます。

保健室では子どもの具合が悪いときや怪我したとき、手当だけでなく体の回復力の素晴らしさ、それを引き出すことのできる心、気持ちの事も伝えます。自分で自分を信じること、その上で周りのお母さんやお父さん、先生、みんなが応援していることを伝えます。

フローマインド：お聞きになったことがあるかもしれません。「一所懸命を楽しもう」「ありがたいな」と考えるだけ。そして、いいパフォーマンスを引き出す周りの関わりは、結果よりも変化を見てもらえる。その瞬間で判断されるのは厭なもの、時間の幅をもって見てあげられる、見通してあげられる姿勢が大事です。また、子育てを通して、親自身もこういう能力を育てる学びの機会を得ています。

子育て井戸端会議は、今週9月16日から再開いたします。  
時間は9時から10時、場所は201号室です。他のお母さんの話を聞くことを通して、自分自身の問題の答えを見つけることのできる素晴らしい機会です。駐車場は間もなく整備されるとのことです。時間を作って、ご参加ください。何かしら、参考になることや気づきを得ただけのことと思います。